

## 埼玉病院救急部門プログラム

指 導 医 上牧 勇（救急部門研修責任者）・細田 泰雄  
石塚 裕人・中川 博之

研 修 期 間 基本コース 必修科目 1か月の救急外来研修及び2年間の月4回救急当直業務  
小児科・産婦人科コース  
産婦人科主科 必修科目 1か月の救急外来研修及び2年間の月4回救急当直業務  
小児科主科 必修科目 1か月の救急外来研修及び2年間の月4回救急当直業務

### 一般目標

埼玉病院は、内科系、外科系、小児科、産婦人科、循環器内科の医師が夜間と休日にも二次救急を行っている。二次救急の初期診療が行えるようになるために、日当直の時間帯に救急外来で急患対応の基本的能力を習得する。また、救急医療システムを理解する。

### 行動目標

1. バイタルサイン、意識障害の把握ができる。
2. 重症度と緊急度を判断できる。頻度の高い疾患の初期診療ができる。
3. オンコール体制を理解し、各専門科に適切な依頼ができる。
4. 地域の救急医療体制を理解し、適切に対応できる。
5. 外傷の診断と初期治療ができる。
6. 小児科救急の初期診療ができる。
7. 産婦人科救急の初期診療ができる。

### 経験目標

1. 経験すべき診察法、検査、手技  
胸腹部の診察、頭頸部、四肢の診察、神経学的検査  
血液検査、尿検査、心電図、動脈血液ガス分析の実施と結果の解釈  
超音波検査、単純X線検査、CT検査、MRI検査の依頼  
気道確保、人工呼吸、心臓マッサージ、末梢静脈確保、胃管挿入、尿道バルーンカテーテルの挿入、気管挿管、局所麻酔法、創傷の処置、皮膚開放創の縫合、消毒、包帯交換
2. 経験すべき病態、症状、疾患  
頻度の高い症状（発熱、頭痛、めまい、失神、痙攣、胸痛、動悸、呼吸困

難、咳、痰、嘔吐、腹痛、腰痛、歩行障害、四肢のしびれ、排尿障害)  
緊急を要する症状、病態（心肺停止、ショック、意識障害、脳卒中、急性  
虚血性心疾患、急性心不全、急性呼吸不全、急性腹症、急性消化管出血、  
急性感染症）

経験すべき疾患（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、頭部外傷、四肢の骨折、  
関節靭帯損傷、狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、呼吸器感染症、気管支  
喘息、過換気症候群、自然気胸、消化性潰瘍、胃十二指腸炎、イレウス、急  
性虫垂炎、感染性腸炎、急性肝炎、急性胆のう胆管炎、急性腹症、尿路結石、  
尿路感染症、糖尿病、低血糖、甲状腺機能亢進症、ウイルス感染症  
小児救急疾患、産婦人科救急疾患

#### 方略

指導医について1ヶ月の救急外来研修と月4回2年間を通じて行う埼玉病院  
の当直医診療業務を共通プログラムでの研修を含み研修する。

#### 評価

評価はE P O Cを使用し自己評価及び救急部門研修責任者による評価を行う。